



助けあい 支えあいで 縁結び あいあいねっと通信

8月

暑中見舞い申し上げます。今年も暑い日が続いている。皆様いかがお過ごしでしょうか?

新型コロナウイルス感染症も今年で3年目を向かえ、明るい兆しを期待した2022年でしたが、2月に突如始まったロシアによるウクライナ侵攻は、世界に衝撃を与えました。コロナ禍に加えてウクライナ侵攻の影響で、物価は高騰し続けています。

コロナ禍を受け、2020年4月末より開始した個人の方への食料提供は、これまでに累計491件(2022年月平均36件)に上っています。コロナの影響で経済的に不安を抱えながらも、何とか生活してきた中での長引く物価高騰により、食糧支援を求める連絡は増え続けています。あいあいねっとへ連絡してこられる方の多くは、インターネットやメディアを通じて知ったことがきっかけです。なかには、電話もなく、電気代も払えないなど、深刻な貧困状態にある方もおられます。そうした方は、支援にたどり着くことも難しい状況であり、また、フードバンクは、数日分の食べ物を提供するだけで、根本的な解決に結びつけることは難しいのが現状です。

そこで、6月25日より月2回のペースで『食品の無料配布会』を開催することにしました。同時に、弁護士や医療介護の専門家(暮らしの保健室亀山様)にご協力をいただき、医療・介護・法律の相談コーナーを設けています。より具体的な支援につながればと思います。この取り組みで、貧困などの問題を解決することは難しいですが、いつもどこかで誰かが寄り添っ

てくれる、そんな「地域のほっとスポット」でありたいと思います。



食品配布会の様子(左)、暮らしの保健室亀山様(右)

5月からは、広島市国際化推進課を通じてウクライナ難民の方への食糧支援も開始しました。ウクライナの食文化も学びながら、喜んでいただける食糧支援を目指して取り組んでいます。

また、少しずつではありますが、食品ロス削減活動も再開しています。無印良品の店舗でのイベント、中学生や小学生への授業を行いました(3面)。10月30日の食品ロス削減の日には、広島市環境局主催のイベントに、広島フードバンクネットワークの団体とともに参加する予定です。より効果的なイベント開催ができるよう、消費者庁認定の「食品ロス削減推進センター」に、スタッフの多くが参加しています。

地域のボランティアさんをはじめ、ご協力くださる多くの皆様とともに、より住みやすい地域社会を目指してまいります。引き続き、温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

★日々の活動は、facebookで公開中



食べ物は食べるためにある！ “もったいない” のない社会を創る！

フードバンク活動

食品ロス削減活動

健康づくり活動・まちづくり活動

【編集・発行】

社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと

私たちは、食品関連企業から、規格外・包装破損・印字不良などの理由で、食べ物としては品質にまったく問題がないにもかかわらず、商品として扱えなくなった食品(食品ロス)を無償提供していただき、それを食べることに困っている人々のもとに届けるとともに、地域の活性化に活かしています。

■住所：広島市安佐北区可部3-9-21
■TEL：082-819-3023
■FAX：082-815-6666
■Email：aiai@nagominato.jp
■web：http://www.aiai.net.org/



社会福祉法人 正仁会



『物価高騰から考える』

社会福祉法人正仁会 フードバンク事業 あいあいねっと代表 原田佳子

コロナ禍の3度目の暑い夏を迎える中、感染者が急増する中、不安な日々を過ごされている方も多いと思います。しかし、さらに心配なことが増えました。物価の高騰です。あいあいねっとは、個人への食料支援を2019年4月末より開始しましたが、最近は、悲鳴に近い声が寄せられるようになりました。「食料の値上げがすごくて、不安で仕方ない」「シングルマザーだが、フルタイムで働いているので、今まで何とかなったが、食料の価格があがって苦しい」など。

帝国データバンクによると、食料の値上げは、2022年1年で2万品目を超える見通しです。その一因として、ロシア・ウクライナ紛争による小麦争奪戦の激化があります。しかし、さらに、心配なことは、日本は、化学肥料原料のリン、カリウムを100%輸入に依存していることです。リン、カリウムの調達が、中国の輸出抑制で困難になりつつあります。その矢先、中国と並ぶ大生産国のロシアの紛争で、来年は、日本の農家に肥料が供給できない可能性が出てきました。日本の食料自給率（カロリーベース）が低いことは、多くの人々の知るところとなりましたが、食物の生産に欠かせない肥料までもほとんど外国に依存しているのです。さて、どうしたらよいのでしょうか。一国民としては、政治的な解決を大いに望みたいところです。

さて、日々、食品ロスと向き合っていますが、このような深刻な日本の台所事情がありながら、食品ロスを発生させているのは、日本国民がかつての「ジャパン アズ ナンバーワン」の栄光から、全く抜け切っていないこともあるのではと考えています。私たちは、今の社会で起きていることをしっかり認識することが、今、強く求められているのではないでしょうか。

お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

食品ロスに関する書籍2冊をご紹介します！！

一つ目は、『瀬戸内食品ロス削減団～フードバンク活動入門～』です。あいあいねっとをはじめとする瀬戸内周辺のフードバンク団体が創設した全国食品ロス削減研究会の書籍です。フードバンクや食品ロス削減について入門から専門分野までわかりやすくまとめられています。5月28日には、出版記念セミナーも開催しました。あいあいねっとでも販売しており、大好評の1冊です。あいあいねっとで売り上げた利益は、個人食料支援の宅配料に役立てています。



2冊目は、消費者庁からリリースされた『食品ロス削減ガイドブック』です。カラフルなイラストがたくさん使ってあり、食品ロスの発生から削減方法までわかりやすく紹介されています。広島文教大学とあいあいねっとのフードドライブの様子もケーススタディの一例として紹介されています！！ウェブサイトでも閲覧することができます。また、消費者庁が今年度から始めた、「食品ロス削減推進センター」という資格の教科書としても使われています。

どちらの書籍も、初心者の方にもわかりやすく、今話題のトピックや私たちの暮らしを豊かにするヒントがたくさん書かれています。ぜひ、ご一読ください。



パートナーさんのご紹介



「食品ロス削減宣言」たくさん集まりました！！

【良品計画株式会社】様は、今年のゴールデンウィークにオープンした、世界最大級の売り場面積を誇る、無印良品アルパーク店にて、フードドライブのコーナーを設け、あいあいねっとに食品を提供していただいています。また、6月19日（日）には、食品ロス削減をテーマにしたコラボイベントを開催しました。アルパーク店の1階と2階を会場に、食品ロス削減をテーマにしたクイズスタンプラリーを行いました。食品に関するクイズを6問解いて、スタンプを集めてフロアを回ります。クイズの答えを手掛かりに、今日から取り組む食べ物を食べきる工夫「食品ロス削減宣言」を紙に書いてもらい、展示をしました。小さなお子さまからお年寄りまでたくさんの方に参加していただき、展示スペースがなくなり

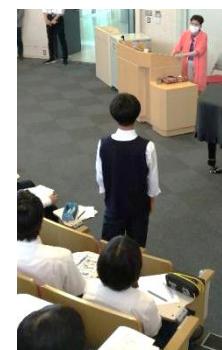
るほどでした。宣言の中には、「好き嫌いをなくす。」、「冷蔵庫の中身を使い切る。」、「買いすぎない、作りすぎない。」などが書かれていました。また、午前と午後に1回ずつ、代表の原田が食品ロス削減についての講座を行いました。皆さん熱心に聞いてくださいました。久しぶりのイベントということもあり、食品ロス削減についてみんなで考える楽しいひと時となりました。ぜひ、アルパークに行く機会がありましたら、フードドライブへお立ちよりくださいませ。



フードドライブ回収ボックス！！

食品ロス削減活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

6月6日（月）、佐伯区五日市にある「広島なぎさ学園」で中学3年生を対象に「食品ロスとフードバンク活動」の授業を行いました。今年で7回目を迎え、食品ロスを始め環境教育に関する先生方の教えの熱心さをひしひし感じます。授業後、「食品ロスをバイオエネルギーにすることは出来ないのか」などとても鋭い質問もありました。



また、毘沙門台小学校5年生の皆様に、「食品ロスとフードバンク活動」の特別授業を行いました。子どもたちは食品ロスの話に興味津々で、学びたいという力が伝わってくるようでした。質問では、フードバンクで苦労することや多く届く食品は何か、あいあいねっとに集まる食品ロスのうち何が一番悲しいかなど、たくさんの疑問を頂きました。

このような機会を通して、食品ロスの実態を知り、行動変容が起り、削減につながれば良いなと思います。





『暑中お見舞い申し上げます』

社会福祉法人 正仁会 業務執行理事 松林克典

長期にわたるコロナ禍に世界が辟易としている中、日本では再び新たに強力な感染の波が襲っています。3年に及ぶ感染対策に医療・介護・福祉に従事している私たちも相当にストレスと疲労が蓄積しています。さらに世界は、コロナをはじめ、ウクライナ問題（戦争）やそれに付随した流通停滞がもたらす食糧危機とエネルギー資源の高騰に伴った物価高（インフレ）、地球環境の変化（温暖化）による各地の異常気象と自然災害など地球上の課題を挙げていけば枚挙に暇がないほどさまざまな問題に晒されています。生態学的システム論からマイクロ、メゾ、エクソ、マクロ、クロノといったシステム視点で視野を拡げていけば現在ロシアが行っている戦争は何を目的としたものなのかが分からなくなっています。国の威信をかけた暴挙なのか、所領や資源の取り合いに不安や恐れを感じて疑心暗鬼になった結果の行動なのか、自民族が他の民族を凌駕して他をひれ伏させたいと願ったおごりなのか、単なる自暴自棄的行動なのか。科学や文明の発展によって交通網は進化し、それに伴う商業ベースのグローバル化は地球規模で人の往来を自由にした現代社会を構築しています。地球を人類共通の拠り所となすために、SDGsを掲げて持続可能な経済成長が果たせるように環境への配慮を謳つて21世紀を歩む人類は、新たな価値観を共有して種としてあたかも成長してきたかのように見えますが、“歴史は繰り返される”とは言え、実は大昔からなにも変わっていないことを印象づけられます。事実として毎日、他国の暴力によって多くの人たちが老若男女問わず被害に遭っています。独裁的な政治体制の元で国家を運営することがこれほどの悲惨な状況を作り出す現実を目の当たりにして、誰かがこの暴挙を止めることができないものかと憂いばかりが募る毎日です。コロナ禍にしても戦争にしてもしばらく現状が変わることが見込めず、エネルギー資源の高騰等により世界的な恐慌が訪れる予感があります。既に日本では長期にわたるデフレから脱却するための政府目標(2%)を大きく凌いでインフレの傾向が強くなっています。生活に困窮する家庭も徐々に増えています。

私たち“なごみの郷”は、社会福祉法人として可能な限り地域に何かを還元できる存在とならなければなりません。たちまちは正仁会を中心に『にのみやグループ』が総力を挙げて運営するフードバンク“あいあいねっと”的活動が、微力ながらも地域に還元できるものと信じています。常にボランティアの方々も募集していますので共に支え、共に頼る仲間になってください。そして厳しい残暑が予想される今夏を一緒に乗り切って参りましょう。

私たちの活動をご支援いただいている事業者様・団体様をご紹介します

- ◆旭食品株式会社広島支店◆有限会社アトラス・コーポレーション◆アルフレッサファーマ株式会社
- ◆アヲハタ株式会社◆株式会社イズミ◆イズミ・フード・サービス株式会社◆株式会社エコールドフルール
- ◆江崎グリコ株式会社◆株式会社 SKY コーポレーション◆株式会社エムズホーム◆株式会社 M&K
- ◆株式会社 M&C コラボレイション◆おおたけ株式会社◆株式会社沖野建築設計◆有限会社オフィスシン
- ◆キユーピー株式会社広島支店◆医療法人社団恵正会◆有限会社健康宅配ネット◆カルビー株式会社
- ◆有限会社山菜木村◆ジャパンフード株式会社◆スターライト工業株式会社◆生活協同組合ひろしま
- ◆田邊農園株式会社◆ダイキヨーニシカワ株式会社◆ダイハツ広島販売株式会社◆株式会社ダイヤス食品
- ◆チチヤス株式会社◆中国電力株式会社◆中電環境テクノス株式会社◆東京海上日動火災保険株式会社
- ◆戸田建設株式会社◆株式会社トーホーフードサービス◆株式会社ナリコマエンタープライズ◆有限会社ニシオカ
- ◆広島アグリフードサービス株式会社◆広島駅弁当株式会社◆広島ガス株式会社
- ◆公益財団法人広島市農林水産振興センター◆広島総合警備保障株式会社◆広島海苔株式会社
- ◆広島森永乳業株式会社◆株式会社フォーリーフ◆藤井医療器株式会社◆株式会社藤三◆株式会社 vegeta
- ◆株式会社ポプラ◆マルコメ株式会社◆マルサンアイ株式会社◆マックスバリュ西日本株式会社
- ◆株式会社マルバヤシ◆ミック株式会社◆株式会社ミライト◆株式会社ミルックス広島支店
- ◆明治安田生命保険相互会社◆山崎製パン株式会社広島工場◆ゆかり屋本舗株式会社
- ◆株式会社ユキ・コーポレーションラ・パン◆株式会社良品計画